

### 最新型車両を導入し 消防力の強化をはかりました

高規格救急自動車 富士見消防署みずほ台分署



救急救命士による高度な処置が行える高度救命処置用資機材を積載。ほかの県などで大規模災害が発生した場合に応援出動する「緊急消防援助隊」に登録されています。

水槽付消防ポンプ自動車 富士見消防署



従来型よりも収納スペースを大きくとり、小回りがきく設計になっています。水槽には1,500リットルの消火用水を積載しています。

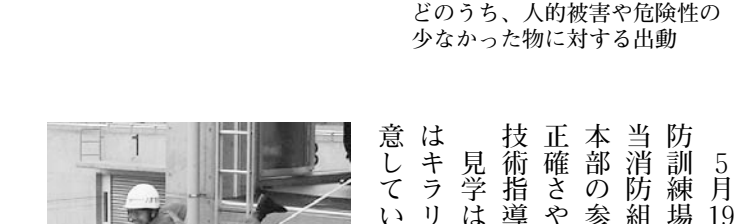
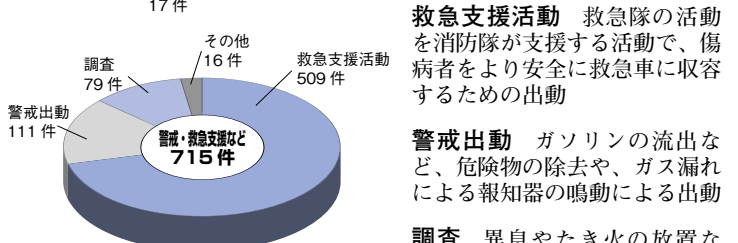
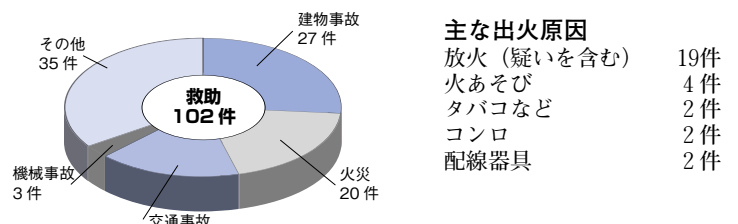
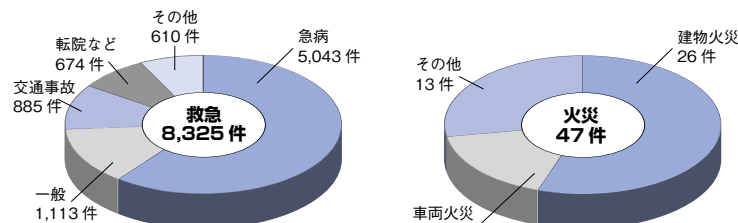
水槽付消防ポンプ自動車 中央消防署(ふじみ野市)



富士見消防署の車両とほぼ同じ仕様です。「緊急消防援助隊」に登録されています。

みんなの消防 第93号  
**入間東部地区消防組合**  
(富士見市・ふじみ野市・三芳町)  
〒356-0052 ふじみ野市苗間1-13-28  
☎049-261-6000 FAX049-261-4395  
ホームページ <http://www.irimatohbu119.jp/>  
Eメール [shobo@irimatohbu119.jp](mailto:shobo@irimatohbu119.jp)  
火災情報 ☎049-263-0119(テープ案内)  
救急病院の案内 ☎049-261-6000(休日・夜間)

住宅火災の多くは、火の取り扱いの不注意が原因です。昨年の富士見市・ふじみ野市・三芳町での火災の件数は47件です。平成20年に比べて1件減っていますが、それでも、1人の尊い命と、多くの財産が失われていきます。救急車の出動件数は、平成20年に比べて48件増加しました。医療機関に搬送されたうち、半数が軽症と診断されました。救急車の適正な利用をお願いします。



**主な出火原因**  
放火(疑いを含む) 19件  
火あそび 4件  
タバコなど 2件  
コンロ 2件  
配線器具 2件

**救急支援活動** 救急隊の活動を消防隊が支援する活動で、傷病者をより安全に救急車に収容するための出動

**警戒出動** ガソリンの流出など、危険物の除去や、ガス漏れによる報知器の鳴動による出動

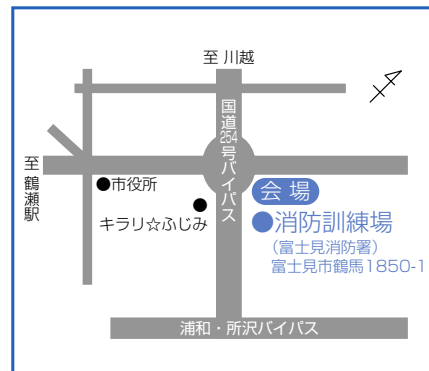
**調査** 異臭やたき火の放置などのうち、人的被害や危険性の少なかった物に対する出動

## 火災・救急・救助などの出動状況 (平成21年1~12月)



7種目に約350人の隊員が参加予定

5月19日(水)午前9時から、消防訓練場(富士見消防署)で、当消防組合のほか、近隣10消防本部の参加により、救助技術の正確さや迅速さを競う消防救助技術指導会を開催します。見学は自由です。臨時駐車場はキラリ☆ふじみの駐車場を用意していますが、数に限りがあります。



問合せ/総務課  
☎049-261-6004

## 県第2ブロック消防救助技術指導会を開催します

**引き続き申込受付中 費用は一切かかりません**  
対象/市内在住で65歳以上の方のみの家庭などで、設置希望日までに電池式の住宅用火災警報器を購入できる家庭  
申込方法/4月30日(金)までに、住所、氏名、電話番号、取り付け個数、希望日を電話またはファックスでご連絡ください。  
申込み・問合せ/予防課予防係  
☎049-261-6007  
FAX049-261-4395



設置中のときも防火の質問をいただきました

住宅用火災警報器の取り付けが困難というお宅に伺い、消防職員・団員が取り付けのお手伝いをしました。「住警器を買っても取り付けられずに困っていたので助かりました」などの声をいただきました。

**住宅用火災警報器 取り付けのお手伝いをしました**

## 春の火災予防運動を実施しました (3月1~7日)

春先は空気が乾燥し、風の強い日が多く、火災が発生しやすい時期です。消防署では、みなさんの防災意識をさらに高めてもらうと、火災予防キャンペーンを行いました。  
火災の発生を防止し、万一発生しても、尊い生命と貴重な財産を守ることが目的です。特に、設置が義務化となった住宅用火災警報器の設置推進と不適合販売への注意、老朽化した消火器の破裂事故への注意のほか、放火による被害の防止策をお知らせしました。  
また、家庭内に潜む火災の危険を未然に防ぐ目的で、一般家庭の防火診断を実施しました。  
そのほか、大型店舗などの特別査察、消防車両による巡回広報を実施しました。



多くの方が消火器の使い方を体験



大人気の「防火服装体験コーナー」

**放火による被害を防ぐために**  
・ゴミや古新聞を屋外に放置しない。  
・敷地内に人感センサーの設置や音の出る砂利を敷くなど、不審者の侵入を防ぐ。  
・車やバイクのカバーシートは、防災性能のあるタイプを利用する。

## 埼玉県特別機動援助隊 合同訓練を実施



当消防組合から救急隊が参加

2月に、埼玉スタジアム2002で、県内18消防本部と、県防災航空隊、災害派遣医療チームなどの参加で、埼玉県特別機動援助隊(愛称・埼玉スマート)の合同訓練を実施しました。埼玉スマートは、地震による建物の倒壊や、列車脱線事故などの大規模災害で、救助が必要な方が多数発生した場合、迅速に出動し活動します。この合同訓練により、各機関の円滑な連携強化をはかりました。

**もう設置しましたか?**  
住宅用火災警報器



消防車両にもAEDなどの救急資機材を積載

みなさんのご理解とご協力をお願いします。

**しょうぼう119**  
救急車を呼んだのに、消防車が来ませんでした。  
なぜですか?  
A 救急要請の増加に伴い、管内に6台ある救急車がすべて出動してしまう場合があります。そのような時、救急隊員の資格を持つ消防隊員が消防車で出動することがあります。消防隊員は、応急処置をして救急隊に引き継ぎます。  
また、救急隊員が安全に活動できるように、車の往来が激しい幹線道路では消防隊が支援したり、傷病者を安全に収容するのに障害があると判断したとき、救急車と消防車が同時に活動したりすることもあります。